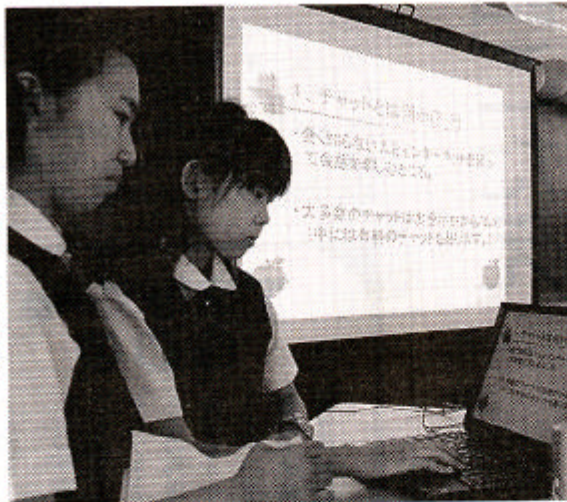


「チャットの功罪」考える

長崎事件受け
須磨学園中学 日常の例から発表

長崎県で小学6年女児「した事件を受け、神戸市
が同級生に切られて死亡」須磨区の私立須磨学園中



チャットについて発表する女子生徒
|| 神戸市須磨区の私立須磨学園中で

学校（西和彦学園長）の
1年生が19日、文化祭で
「チャットの功罪」につ
いて発表した。

同校では職員、生徒、
保護者が欠席や行事案内
などをメールでやりとり
し、チャット（会話）も
日常的に活用している。
発表したのは男女10人
の生徒。「タイピングが
速くなった」などの利点
がある一方、「相手の顔
が見えないので面と向か
っては言えない」といこ
とを書いてしまう可能性
がある」と指摘した。

発表後、保護者からは
「普段話す時より、チャ

ットでは言葉が乱暴にな
っていないか心配」など
の意見も出された。

発表者の佐山未佳さん
（12）は「事件を知ってチ
ャットは怖いものにもな
るとわかった。みんなが
利用時間を決め、チャッ
トばかりに頼らないこと
が大切だと思う」。

同校でIT指導をして
いる宮浦修造教諭（44）は
「世の中の情報化が進ん
でいる以上、教育現場で
は早い段階から、使い方
やマナーを教えるべきだ
と思う」と話した。